



# ホシノツブシ

<b>自由民主</b> LIBERAL & DEMOCRATIC 自由民主党ホームページ http://www.jimin.jp	号外号	発行 自由民主党 〒100-9910 東京都千代田区永田町1-11-23 電話 03-3881-6211
---	-----	---

発行元：自由民主党神奈川県第12選挙区（藤沢・寒川）支部 支部長  
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢973 相模プラザ第3ビル1F  
TEL:0466-23-6338 FAX:0466-23-6339

## 星野つよし

http://t-stars.com @hossys Hoshino tsuyoshi(星野剛士)

## 平成28年11月

### 国家戦略特区特区実証プロジェクト

### 藤沢市におけるロボットタクシー実証実験の報告

今年2月29日から3月11日まで、藤沢市大庭において、自動運転システムを搭載した（ロボットタクシー）による自動運転の実証実験が行われました。

その結果を報告させていただきますが、まずは、ロボットタクシーの実証実験について、もう一度、簡単に説明させていただきたいと思えます。この実験は、募集したモニターの皆様、パソコンやスマートホンで配車の予約をしていただき、住居と目的地（イオン藤沢店）の間を、買い物を想定してロボットタクシーを使用してもらうというもので、湘南ライフタウンの中央けやき通りの約2.4Kmを自動運転で走る実験を行ったものです。この実験は日本で初めての試みでした。



さて、それでは、結果を報告させていただきます。自動運転走行の回数20回、走行距離27.7Km、実験にご協力いただいた乗車モニター延べ人数51名という実証実験をおこない、交通事故は0件でした。



幅広い年代・性別のモニターの皆様にご乗車いただき、生のご意見を伺うことができました。アンケート調査では、5段階の評価で、9割近くの方が「安定していた」「やや安定していた」と回答され、自動運転中の安全対策についても9割以上の方が「良かった」「やや良かった」とお答えになりました。中には「主人の運転より安心（笑）」、「言われるまで、ハンドルを離しているって気付かなかった」というご意見までありました。

「歴史的な一歩に自分もかかわれた」と喜んでくださった方もおられ、大変うれしく思いました。また、多くの方々から、「事故防止に期待したい」というご意見を頂戴しました。ポジティブな実験の評価と、自動運転への高い期待を受け、今後は、自動運転走行距離を伸ばすとともに、対応できる範囲を広げていけるよう全力で取り組み、実現向け進んでまいります。

## 「ロボットにキュンとするまち。藤沢」 ～藤沢市ロボット産業推進プロジェクト～



超高齢社会や人口減少社会の進展に伴い、今後、医療、介護・福祉、家事、安全安心といったさまざまな分野で人の暮らしに役立つロボットの普及が期待されています。

そこで藤沢市は、ロボットを活用したソーシャルイノベーションを実現する先進都市を目指し、平成27年度から「ロボットにキュンとするまち。藤沢」（藤沢市ロボット産業推進プロジェクト）」を開始しました。ロボット関連企業の誘致やロボットの普及・啓発、人材育成などを推進し、市民生活の質的向上と地域経済の発展に貢献します。

# 人に優しい技術 改革をめざします

世界の先進地域では、ロボットや人工知能(AI)、ビックデータ利活用や自動運転技術など新しい技術が次々に現れ、第4次産業革命と呼ばれています。技術先進国・モノづくり大国であるドイツは、官民挙げてこの方向『インダストリー(産業)4.0』に邁進しています。

一方、日本は人に優しく、社会の為になる技術革命『ソサエティー(社会)5.0』を目指すべきだと考えます。人に優しく、社会と生活の質の向上に結びつく技術革命が必要とされているからです。

19世紀の英国では産業革命に沸いていましたが、手工業職人たちが織機を壊す「ラダイト運動」も広がりました。仕事を奪う「機械」への抵抗運動です。結局、英国はインドより安く綿織物を作れるようになり、綿工業が発展。1840年ごろの国内総生産(GDP)は産業革命以前の1750年ごろより4割以上増加して、雇用も増えました。

人に優しく、社会の為になる技術革命を目指して参ります。

## アトムの7つのチカラを目指したロボットが生まれていきます。

**チカラ1**  
その  
10万馬力



手足のリハビリを支援する  
パワーアシストハンド&レッグ  
空気圧を利用することで、安全かつ少ない負荷で、  
手足のリハビリをサポートするロボット。



**チカラ2**  
その  
サーチライト & カメラ



無人走行で活躍する災害状況遠隔調査車両  
災害発生時に人が容易に立ち入れない場所へ向かい、  
写真の撮影を行うなど、  
災害の状況を調査する無人走行・調査ロボット。



**チカラ3**  
その  
聴力1000倍



がれきりに埋もれた被災者を探索するロボット  
災害発生時にがれきりに埋もれた人を助け出すために、  
マイクロ波レーダーを使って、生存者を調査するロボット。



**チカラ4**  
その  
人工声帯



介護施設等での高齢者向け  
コミュニケーションロボット  
介護施設などで、認知症の方を含めた高齢者の方と  
会話をすることによってコミュニケーションを図る、  
新しい人型会話ロボット。



**チカラ5**  
その  
電子頭脳



自動運転技術を搭載した自動車  
周辺の道路環境情報や位置情報を察知しながら、  
クルマをどう動かすかを判断し、ハンドルやアクセル、  
ブレーキ等を自動的に制御する人工知能を備えた自動車。



**チカラ6**  
その  
人の心を感じる力



人の行きたい方向を察知し  
先導するガイダンスロボット  
視覚障がい者をサポートし、道物の中を移動するために、  
施設の配置、進む方向、階段などの情報を声で案内し、  
先導を行うガイダンスロボット。



**チカラ7**  
その  
空飛ぶジェットエンジン



災害状況を上空から把握する飛行ロボット  
災害現場の情報収集や監視を  
上空から行う、無人の飛行ロボット。



©TEZUKA PRODUCTIONS



IPFでは認知症の  
聴力が衰えた  
高齢者を公助中！



詳しくは **さがみ 特区** で検索してね!

【問い合わせ先】 神奈川県 産業労働局 産業部 産業振興課 電話 045-210-5650